

# 春のあそび

### 特集 オープンキャンパスで川短を知ろう

- 担任から卒業生へ
- 学長賞・学科賞／留学生帰国
- 松丘会教育支援事業による表彰
- 医療介護福祉科公開授業
- 教員活動紹介
- 学友会新役員紹介／新任職員紹介
- ソフトボール大会優勝／川崎エコプロジェクト
- インフォメーション



特集

# オープンキャンパスで川短を知ろう



広報紙編集委員会  
河邊 聡子

医療保育科  
2年  
山下 藍さん

医療介護福祉科  
2年  
森 美雪さん

放射線技術科  
1年  
日比野 香さん

臨床検査科  
1年  
本田 彩奈さん

看護科  
3年  
西村 友希さん

本学では、5月から10月までオープンキャンパスを開催しています。オープンキャンパスに参加してくれた高校生の多くが本学を受験し、在学しています。

そこで今回は、オープンキャンパスの参加経験を持つ学生にその魅力を語ってもらいました。本学のオープンキャンパスの特徴をご覧ください。

## 参加して初めて分かること

**河邊** オープンキャンパスに参加した印象はいかがでしたか。

**西村** 初めはすごく緊張して、聞きたいことを質問できませんでしたが、先生や先輩が優しい雰囲気です。そのような環境の中で試験や面接のアドバイスを聞いたことはとても良かったです。他にもいろいろな大学を見学しましたが、本学は実習室が豊富で、専門分野ごとに実習室が整備されていて、深く学べそうだと思います。



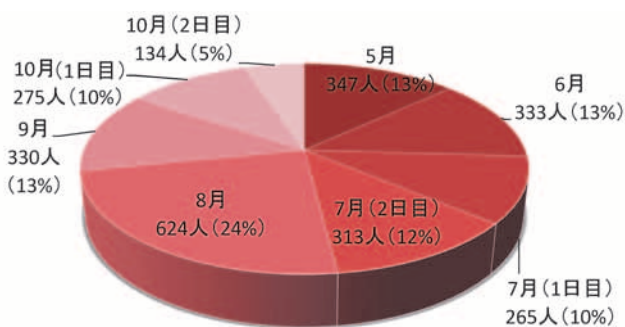
**本田** ここに行きたい学科があり、進学したいと決めていたので、本学のオープンキャンパスだけに5回も参加しました。全体説明会ではいろいろな学科の説明があり、

医療における各学科の特色を知ることができました。

**日比野** オープンキャンパスのときに臨床実習の場である病院にまで見学に行ける大学は珍しいと思います。実習先の病院は設備が



平成26年度開催月別  
オープンキャンパス参加者数とその割合



参加者の多くは、7月や8月の夏休みの期間中に参加されています。



整っていて、こんな病院で実習を受けたいと思い、本学への進学を強く希望するきっかけになりました。全体説明会では、入試対策として、小論文でどのようなところを押さえておけばいいか、面接でどういうことを

聞かれるかを教えてもらえるので、試験を受ける人は参加したほうがいいと私は思いました。

**森** オープンキャンパスでは模擬講義が良かったと思いました。介護食を作ったり、介護技術の模擬講義を受けたりしました。その中で先輩と一緒に話ができる機会がありました。友達と行ったり一人で行ったのですが、先輩たちがとても気さくに声をかけてくれたおかげで、一人でも楽しく模擬講義が受けられたことが印象的でした。



**山下** まず医療を学べる保育科がここにしかなく、医療保育科という学科に興味を持って参加しました。私も模擬講義が印象に残っています。猛獣狩りのお遊戯や新聞紙を使った遊びと一緒にしたり、小児の心肺蘇生の体験をしたのが印象に残りました。他の大学と比べて、保育だけを学ぶのではなく、医療や障がいの子どもについてもより深く学べるところがいいなと思いました。



### 安心して預けられる場所

**河邊** オープンキャンパスに参加された保護者の反応はいかがでしたか。

**日比野** 母も先生方と話をする機会があり、先生の印象が良かったため、任せられるよねと言っていました。

**西村** 私の住んでいる地域には看護系養成校がほとんどなく、県外を志望していたので、母は心配してオープンキャンパスについてきていました。母としても他の大学と比べて本学は察もあり安心できると言っていました。

### 入学後、勉強の大変さを改めて知る

**河邊** オープンキャンパスのときに受けた印象と入学後の印象で異なる点はありましたか。

**日比野** 先生方の対応はとても良かったのですが、先輩



臨床検査科体験実習



と話す機会に、大学に入ってどれくらい大変かを教えておいてもらったほうが心構えができたかなと私は思いました。オープンキャンパスでは先輩からは楽しいよと聞いていて、入学してから担任の先生に大変さを初めて聞いてびっくりしました。

**西村** これは、私が入学後にオープンキャンパスで本学を紹介する側になった際に、自分の経験を踏まえて高校生に伝えていることですが、高校生から「アルバイトはできますか?」「楽しいですか?」などと聞かれるときに、楽しいだけでなく勉強が大変なこともきちんと伝えています。

### 附属病院があることが メリット

**河邊** 他の短大や4年制大学のオープンキャンパスで受けた説明と比べてどこか違っていませんか。

**西村** 実習のことが気になっていたのので、他の二つの大学でも聞いてみたところ、附属病院がない、どこに実習に行くか分からない、電車で2時間かかる場所に行く

病院見学の様子



などと言われました。本学の場合、実習先が近いから、こちらのほうがいいかなと感じました。

**河邊** 近くに附属病院があるのは他の大学と比べ大きなメリットですか。

**西村** 他の大学のオープンキャンパスで実習場所にどうやって通うかを聞いてみたところ、実習期間のみ改めてその場所に一人暮らしするなど分かり大変かなと思いました。

**日比野** 他の大学では毎年行く病院が変わる、遠くの実習先に行くことがあり大変だと聞きました。

**河邊** 病院見学についてはいかがでしたか。

**西村** 実際に説明してくれた看護師さんが本学出身の方で、良いところを話してもらえ良い印象を受けました。その方が輝いて見えました。

**本田** 臨床検査技師の方が実際にどこで働いているのかを中央検査部に入って見るのができたので、とても良い経験になりました。

**日比野** 本学の先生の他にも診療放射線技師の方がとても楽しく説明をしてくれ、受験に対するモチベーションが上がりました。将来は、ここの病院でぜひ実習したいと思いました。

### 寮生で良かった、 寮の仲間で情報共有

**河邊** 寮は見学しましたか。

**西村** 寮母さんが詳しく説明してくれました。部屋が狭いという第一印象を持ちました。

**日比野** 実際狭く、パンフレットとイメージが違ふと感じました。でも、優しい寮母さんがいること、通学に便利なこと、朝と夕に食堂が利用できることが分かり、入寮を決めました。

**山下** 寮母さんに各部屋の案内をしてもらい、寮生活について聞くことができ良かったです。

**河邊** 実際に入寮されて生活はどうですか。

**西村** 寮生で良かったと感じたことは、試験前や実習前に追い込まれたりしたときに、寮仲間で情報を共有しあったりできて役に立ったことです。

医療介護福祉科体験講義



**日比野** 初めはちょっと嫌でしたが、同じ学年や学科の学生が近くにいるので友達がすぐできました。定期試験対策ができたり、みんなでワイワイ楽しく生活できたりしています。

**西村** 私は先輩と同じ階で、その先輩が優しく、大学のことで試験のことで困ったときはアドバイスしてくれてとても助かりました。

オープンキャンパス参加の先輩から高校生へ

**河邊** これからオープンキャンパスに参加する高校生にアドバイスがありましたらお願いします。

**西村** 私は入試直前のオープンキャンパスに参加したのですが、先生や先輩方が入試対策についてとても細かく教えてくださいました。そのときに、看護師になるなら人と話すときしっかりと笑顔で話せないといけないので、それは面接も一緒だよと教えてくださいました。それが受験するときとても強みになったので、ぜひオープンキャンパスには来るべきだと思います。

看護科体験実習



**本田** オープンキャンパスにはたくさん的高校生が来るので、説明を聞くだけでなく、必要な情報を自分から積極的に質問することが大事だと思います。

**日比野** 本田さんと同じですが、せっかく参加するのなら、自分が疑問に思っていることを全部質問して、解消してから入試に臨めば自信につながると思います。積極的な姿勢で参加したほうがいいです。

**森** 入試問題の解説が充実しています。全体説明会の後で学科に分かれ個別に先生と話す機会もあるので、学科の雰囲気を知ることもできます。しっかり対策ができるので面接の緊張も和らぐと思います。

**山下** 私は高校生のときには1回しか参加しませんでした。もっと何回も参加すれば良かったと思いました。参加すれば学科のことも分かるし雰囲気などがつかみやすいと思います。また、質問コーナー等を利用して積極的に質問することを勧めます。本学の学習についてより詳しく知ることができると思います。



平成27年度は、5月23日からオープンキャンパスが始まります。日程の詳細は、広報紙最終ページに掲載しておりますので、ぜひ参加して、本学の魅力を十分体験してください。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

# 2015 March Message

## 担任から卒業生へ



看護科 3年担任  
黒田 裕子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本学で学び過ごした3年間はいかがでしたか。悔いの残らない思い出深い時間になったのでしょうか。苦楽を分かち合える良き友には巡り合えましたか。看護を勉強する上で難しさに直面したこともあったと思いますが、日々努力を重ね一つずつ乗り越えて今日という日を迎えられることを、心から嬉しく思っています。そして、これから本当の意味での勉強が始まります。これまで身に付けた知識・技術・人間性を基盤にして、いつかあなたらしい花を咲かせることができるよう努力を続けてほしいと思います。

対人援助職に就こうとしている皆さんには、これからも多くの出会いがあります。その一つひとつを大切に、相手のことを思いやり感謝し、いつも謙虚で誠実な心を忘れないでください。皆さんのこれからのご活躍を願っています。



看護科 3年担任  
沖田 聖枝

ご卒業おめでとうございます。

3年にわたる看護の学習、臨地実習や国家試験の勉強は想像以上に厳しく、逃げ出したいと感じたことが何度もあったのではないのでしょうか。しかし、皆さんは仲間と助け合いながら多くの苦難を乗り越え、卒業という一つのゴールに到達することができました。

看護はやりがいのある仕事だと言われますが、「やりがいがある」と感じることは自分次第です。この先、皆さんは数多くの失敗に直面し、挫折することもあるでしょう。しかし、失敗は貴重な経験になります。「失敗は成長への第一歩」と肯定的に捉え、自己の課題を一つずつ達成していくことでやりがいを感じることもできるはずです。失敗を恐れるあまり指示待ち人間になるのではなく、自分で考え、行動する気持ちを持ち続けてください。今後の皆さんの活躍を心から祈っています。



臨床検査科 3年担任  
中原 貴子

ご卒業おめでとうございます。

講義・実習と忙しいカリキュラムを無事クリアし、ひと回りもふた回りも成長されたことと思います。まずは頑張った自分を褒めてください。

学生としてのゴールを迎えると同時に社会人としてのスタートが切れ、生活も大きく変化します。これからは、誰かにやってもらうのではなく、自らやらねばならないという自覚を持ち、やったこと、あるいはやらなかったことに対して責任を負うという意識を持たなければなりません。本学で学んだことを十二分に生かし、臨床検査技師としてのご活躍をお祈りいたします。自身の力を過信することなく、常に謙虚でいてください。そして、愛される医療人になってください。

皆さんの人生のうちの数%の時間でしたが、共に過ごすことができ本当によかったです。ありがとう!!



放射線技術科 3年担任  
見見 敦

ご卒業おめでとうございます。

3年前に担任をすることになって、初めて皆さんと顔を合わせたのがつい昨日のように思えます。講義や定期試験、臨床実習、そして国家試験と、忙しくも充実した3年間を過ごしてきたことでしょう。臨床の現場を知らない私ですが、実習日誌を読むたびに、皆さんが診療放射線技師になる階段を一步步上がり、成長していく様子がうかがえました。

皆さんはまだ長い人生の途中ですが、卒業後も学ぶことは続きます。社会に出れば、大きな困難に直面することもあるかと思いますが、立ち止まっても構いません。しかし、そこから逃げないでください。本学で培った知識や能力、経験を生かして道を切り拓いていってください。皆さんの今後のご活躍を願いつつ、どこかでお会いできるのを楽しみにしています。



医療介護福祉科 3年担任  
土田 耕司

ご卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

この卒業は人生の大きな区切りとなると思います。今後とも真摯に精進されていくことを願っています。

人生、山もあれば谷もあります。一人では乗り越えられないような壁にぶつかることもあるかもしれません。そんな時、共に学んで過ごした医療介護福祉科2期生の、仲間のことを思い出してほしいと思います。できることなら、いつまでも励まし合ったり慰め合ったりできる大切な仲間であり続けることを願っています。

最後になりましたが、医療介護福祉科2期生の皆さんの担任をさせていただいたことを感謝しております。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

Congratulations Congratulations Congratulations Congratulations Congratulations



医療保育科 3年担任  
岡田 恵子

8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
子どもの専門家になるため多くを学んできた皆さん、4月からはかわいい子どもたちの先生です。皆さんと話を  
をしていて、幼稚園、保育園の時代に、自分がかわいがってくれた担任の先生を懐かしく覚えている方が多い  
ことに驚かされます。皆さんも、いつまでも子どもたちの心に温かく残るような、子どもを心から愛する素敵な  
先生になってください。

社会に出ていくと、特に最初のころは、子どもたちのことよりも周囲との人間関係に悩むことが多いかもしれ  
ませんが「冬来たりなば春遠からじ」と信じ、いろいろ模索しながら、頑張ってください。皆さんの心に残って  
いる先生方もきっとさまざまな苦しみを乗り越えられてこそ成長され、素敵な優しい先生になられたに違いあ  
りません。皆さんのご活躍を心からお祈りしています。



医療保育科 3年担任  
入江 慶太

8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
皆さんが1年生の時にも担任をさせていただきました。3年生になっても元気の良さや反応の良さはそのま  
まに、社会人、そして保育者になる期待と不安を背負って今を迎えているのではないのでしょうか。

社会は大学生活のように甘くはありません。一つひとつのことに責任を負わなければならないことも多いと思  
います。しかし、皆さんはこの3年間で、それを乗り越えるだけの力を身に付け、悩みを共有できる得がたい友人  
を作ることができました。どうか、くじけずに前に進んでいってほしいと思います。それでもくじけそうになっ  
たら、いつでも母校に遊びに来てください。温かい(冷たい)お茶とお菓子でおもてなしたいと思います。

最後になりましたが、皆さんのご活躍を心よりお祈りしております。

## 栄えある 受賞者

平成26年度卒業証書・学位記授与式は3月16日に挙行され、「学業  
成績優秀で、品行がすぐれ、他の学生の模範とするに価する」と認め  
られた学生に『学長賞』と『学科賞』が贈られます。

【学長賞】全卒業生のうち、特に優れた学生であると認められた場合に表彰されます。

【学科賞】各学科から1名が表彰されます。

### 学長賞



臨床検査科  
藤本 大地

### 学科賞



看護科  
藤井 加奈



臨床検査科  
武居 由香里



放射線技術科  
永田 智子



医療介護福祉科  
富山 恵美



医療保育科  
田口 佳奈

## 留学生帰国

ジャイゼン  
再会、日本の皆さん

日本の看護学を学ぶために上海から本学へやって来  
た2名の留学生が、約3年半の留学期間を無事に終え、  
帰国の途に就くことになりました。

今後ますますのご活躍をお祈りします。



朱 慧  
(看護科)



陸 龍君  
(看護科)

## 松丘会 (本学同窓会) による 学生表彰

松丘会は、在学生に対する教育支援事業の一環として平成24年度より学生表彰を行っています。これは、学業や学外活動などにおいて他の模範となるような功績を修めた学生や団体に対して表彰するものです。例年、非常に優れた成績を修めた学生や多様な感性を発揮してコンクールに入賞を果たした学生、人命救助やボランティア活動に貢献した学生などが表彰されています。平成26年度は、以下の個人と団体が表彰され、山口学長、下田副学長、小池副学長臨席のもと、松丘会会長 小郷 正則氏から表彰状と記念品(松丘会クオカード)が授与されました。



### 個人の部

学科・学年	氏名	表彰理由
看護科1年	金原 唯奈	第20回「前田純孝賞」学生短歌コンクール「新温泉町長賞」受賞
看護科1年	吉崎 愛	第20回「前田純孝賞」学生短歌コンクール「新温泉町教育長賞」受賞
臨床検査科3年	藤本 大地	優秀な成績を修めた功績
放射線技術科3年	大西 英治	放射線取扱主任者第1種合格
放射線技術科3年	永田 智子	放射線取扱主任者第1種合格
放射線技術科2年	井浦 真希	放射線取扱主任者第1種合格
放射線技術科2年	川崎 侑紀	放射線取扱主任者第1種合格
放射線技術科1年	我如古 有梨	第20回「前田純孝賞」学生短歌コンクール「前田純孝賞」受賞
放射線技術科1年	日野 美紀	第20回「前田純孝賞」学生短歌コンクール「新温泉町長賞」受賞
放射線技術科1年	浅原 あゆみ	第20回「前田純孝賞」学生短歌コンクール「新温泉町教育長賞」受賞

### 団体の部

団体名	氏名	表彰理由
学生会執行部	31名 代表：稲見 遼香	年間12回にわたる地域安全パトロール活動とともに倉敷警察署との連携活動など広く地域安全活動に貢献した。
ソフトボール部	35名 代表：山本 拓弥	中庄学区秋季ソフトボール大会に参加し、地域交流を図るとともに2年連続優勝を果たした。





# ようこそ!公開授業へ 「短大の授業を受けてみよう!」



医療介護福祉科は、介護に興味や関心のある高校生や先生を対象に授業を行うことにしました。これは、短大での専門的な勉強を本学科の授業を通じて体験し、将来の自分をイメージするヒントにしてほしいと考えたからです。第1回は、「医療介護福祉科のコミュニケーション技術」をテーマに、平成27年1月24日(土)に開催しました。

## ①まずは、緊張をほぐして

最初に、緊張した高校生の心と身体を開放するために、目を閉じて好きな色をイメージするイメージ呼吸法を行いました。自己表現が豊かになることで、より相手に伝わるコミュニケーションが可能になります。

## ②コミュニケーションの3つのポイント

コミュニケーションのポイントについて、1) 人と人との関係における意思の疎通、2) 言葉や文字、身振りなどを活用した情報の伝達、3) 人間関係を築くための大切な手段、という3つの観点から説明しました。人と人をつないでいくのがコミュニケーションです。介護を学ぶ人は、まず、利用者より良い人間関係を築くことが求められます。温かい関わりの中で互いに表現され深められていくのがコミュニケーションです。

## ③利用者の言葉を大切に受け止める

コミュニケーションの基本は、利用者の発する言葉を大切に受け止めることです。その言葉には、利用者の大切な心があるからです。相手の発する言葉(心)を大切に、良い関係性を築いていきます。そうすることで、利用者を主役としたコミュニケーションが可能になります。私たちが、周囲の誰かに分かってもらいたいと思って語るエピソードの多くは、自分がその時抱く心の部分です。その心が相手に理解されると、自分は相手に大切にされているのだと安心し、前向きになり、肯定的感情を持つことができます。介護福祉士には、相手の表現する気持ちや想いを敏感に、かつ繊細に感じ取る力が必要なのです。

## ④介護福祉士に大切なこと

介護福祉士は、自己の持つ五感を総動員させて利用者の心を受け止めます。そこで、五感を磨くために、3人1組になって、他者の手に触れることや、他者が手をたたき、誰がたたいたかその音を聴き分けること、表情をよく観察することを通して相手の感情の変化を見分ける演習に挑戦しました。

介護福祉士は、利用者と一緒に限りの時間を共に過ごします。その中で、利用者は必ず私たちに大切なメッセージを伝えてくれることを説明しました。そして、そのメッセージを敏感に感じ取り、

受け止め、何があっても向き合っていくのが介護福祉士の成せるコミュニケーションであることを伝え、最後のまとめとしました。

## ⑤医療現場における手話

医療に関する情報は命に直結するほど重要なものです。聴覚に障がいのある人には適切な配慮が必要です。そのような人に対する情報保障について考えてもらいました。病院の待合室では肩をたたき呼ぶこと、点滴などの処置においては手話ができるように配慮することなどが重要です。その上で、症状の説明や受付・問診における手話を紹介しました。

受付 発熱

身体 → 症状 → 何?

(問診)「どうなさいましたか?」

参考文献:『手話で分かりやすい体と病気』『手話で必見!医療のすべて』  
財団法人 全日本ろうあ連盟出版局

## ⑥在学生との交流・感想

授業後には、焼きたてのパンと教員手作りのお菓子を用意し、和やかな雰囲気の中、在学生や教員と共に参加者との交流を図ることができました。参加者からは、「授業の中で介護福祉士に関することもすごく詳しく聞けた」「演習が楽しかった」「先生方や先輩はとても明るくて対応がとても良かった」「今後も公開授業に参加したい」との感想をいただきました。

(医療介護福祉科 辻 真美)

2014年

# アジアパラ競技大会



2014年10月18～24日の7日間、韓国<sup>インチョン</sup>の仁川でアジアパラ競技大会が開かれ、水泳など23競技(日本は22競技にエントリー)で熱い戦いが繰り広げられました。「パラ」という言葉には、障がいのない人の競技会に対して、「もう一つの」とか「並ぶ」という意味が込められており、アジア競技大会閉幕後に同じ会場で開催されました。今回の大会で特記すべきことは、車いすダンススポーツがアジアパラ競技大会に初めて正式種目として選ばれたことです。私もそのボランティアスタッフとして仁川に行きました。日本からは、車いすダンススポーツ選手団に8組(ドライバー・パートナー各8名の合計16名)が参加しました。この競技では、車いすで踊る人をドライバー、スタンディングで踊る人をパートナーと言います。当初は9組で参加する予定でしたが、出発前に選手のクラス分けで1組が出場できなくなりました。障がい者スポーツでは、選手の体調はもちろんのこと、障がいのクラス区分検査(選手の障がいの程度により参加するクラスを分ける)など、選手も役員も気を配らなければならないことが多くあります。車いすダンススポーツの場合は、Iクラス(重度の人)とIIクラス(Iクラスより軽度)の2クラスだけですが、他の競技では知的障がい・視覚障がい・内部障がいと多岐にわたります。

車いすダンススポーツは20日(モダンダンス)と21日(ラテンダンス)の2日間ありました。選手村から会場の江華コインドル体育館まで車で1時間以上もかかったり、猛スピードのパトカーが先導して会場入りするなど驚くことばかりでした。会場には韓国的高校生も応援に来ていましたが、観客は少なく、まだまだ十分に認知されている競技ではありません。私たちも韓国と日本の旗を持って、高校生に負けないように両国を応援しました。韓国の演技は素晴らしく、日本も健闘しましたが、残念ながらあまり良い成績ではありませんでした。

最後に、韓国や仁川の印象を少し付け加えておきます。韓国は交通費が安いのでタクシーで移動することが多かったのですが、仁川では片側5～6車線の幅広い道路を怖いぐらいのスピードで運転する人が多いです。道路の両側には高層マンションが所狭しと建っていて建設中のマンションも多く、仁川は勢いのある新しい町という印象を受けました。

何はともあれ、今回、車いすダンススポーツは初めてのアジアパラ競技大会への参加であり、選手・役員・ボランティアともに今後につながる良い経験になったと思います。

(医療保育科 秋政 邦江)



## 学友会 新役員紹介

皆さん、こんにちは。学友会委員長を務めることになりました佐々木 あゆみと申します。よろしくお願いいたします。



学友会委員長  
看護科 1年  
佐々木 あゆみ

平成 26 年度の学園祭終了後、学友会の役員として 7 名が新たに任命されました。学友会全体では執行部が 17 名になり、学園祭終了後から活動してい

ます。昨年より人数は少ないですが、それぞれ個性を發揮しながら活躍しています。引き継いだ当初はやり遂げられるかどうかとても不安でした。しかし、初仕事のクリスマスパーティーで、壁に当たりながらも成功へと近づいていくうちに、執行部一人ひとりのやる気を身をもって感じました。私たちは、責任感と行動力を持ち、どんなことでも楽しんで遂行できる力を持っています。皆さんの声に常に耳を傾けながらイベントを企画していき、一人ひとりが楽しめるように努力していきたいと思っています。

毎年、様々なイベントを企画・運営していますが、その中でも学園祭は最も重要なイベントです。来年度の学園祭では、本学の学生が楽しめるだけでなく、外部の方々も川崎学園全体でも楽しめるような運営をしていきたいと考えています。また、安全パトロールでは、地域の方々とのつながりを強めるために、挨拶の励行を徹底し、大学周辺の美化活動と安全活動の強化を通じて、地域に貢献したいと思います。

役員を引き継いで早 5 カ月になります。今後、良き先輩、良き学生の見本になれるように努力をしていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。



学友会新役員

## 新任職員紹介

本学の仲間になった職員の方を紹介します。



濱波 悟 機械室 設備技術員

初めての職場で戸惑うことばかりですが、設備係として、迅速で確実な作業を通して皆様が快適な学生生活を送れますように努めてまいります。

## 中庄学区ソフトボール大会優勝

春の中庄学区ソフトボール大会に引き続き、秋の中庄学区ソフトボール大会でも優勝することができました。1 試合目は厳しい試合となりましたが、優勝までたどり着くことができ良かったです。メンバー全員のチームワークの良さがあったので優勝できたのだと思います。山陽新聞にも取り上げてもらってとても感動しました。

3 年生はこの大会で最後になってしまうのですが、先輩方にはこのようにすばらしいソフトボール部にしていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。また練習に来てください。

次の大会も優勝目指して頑張りたいと思います。  
(臨床検査科 2 年・ソフトボール部部长 山本 拓弥)



地球温暖化対策  
ワーキング  
グループだより

川崎エコ  
プロジェクト

2UP  
3DOWN

毎日たくさん出るゴミの発生量は1人1日当たり1kgとされています。年に直すと0.365tになります。化石燃料(石油、石炭、天然ガスなど)による二酸化炭素の1人当たり排出量は、ゴミの発生量の25倍もの量になるそうです。詳しくは、<http://www.mizumirai.net/chikyu/co2-0602.htm>をご覧ください。

皆さん、エレベータ内の標語「2UP3DOWN」をご存知ですか。3階程度の短い距離のエレベータ使用が1日10回、または他の階から3階程度呼ぶ回数が1日8回だとすると、1人当たり年間14.5kgの二酸化炭素の排出があると言われています。スポーツをしていなくても、階段を歩いて上ること、1分7kcal程度が消費されます。階段を上ることにより大腿四頭筋の内側広筋を使うことになり、基礎代謝を高めます。また姿勢を伸ばして上ると効果はさらに上がります。ダイエット効果もあります。

我々医療・福祉関係職は立ち仕事が多く、学生のときから体力を付けておく必要があります。寒い時期ですが、基礎代謝を高めるためにも、皆さん頑張らしましょう。

(臨床検査科 鐵原 拓雄)

## 平成27年度 公開講座

### 第1回【医療介護福祉科】

#### 講座名：「元気なお口で介護予防」

講師：前川 享子  
(岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター 摂食・嚥下リハビリテーション部門)

日時：6月21日(日) 10:00～11:30

会場：本学 体育館 101教室

### 第2回【看護科】

#### 講座名：「小さな傷でもよく見える ～体にやさしく安全な鏡視下手術～」

講師：繁光 薫 (本学看護科教授)

日時：8月16日(日) 10:00～11:30

会場：本学 体育館 101教室

### 第3回【臨床検査科】

#### 講座名：「身の回りには目に見えない微生物の不思議」

講師：黒川 幸徳 (本学臨床検査科准教授)

日時：10月10日(土) 13:30～15:00

会場：本学 体育館 102教室

平成  
27年度

## オープンキャンパス

模擬講義・体験実習などを通じて、本学の特色をぜひ、体感してください！

保護者・教員の皆さまもお気軽にお越しください。事前の参加申し込みは不要です。

(当日駐車場無料、第1回～第5回は中庄駅から本学までの無料送迎バスあり)

	開催日時	備考
第1回	5月23日(土) 13:00～16:00	現代医学教育博物館見学 (全学科希望者対象)
第2回	6月21日(日) 13:00～16:00	附属病院見学 (全学科希望者対象)
第3回	7月18日(土) 13:00～16:00	附属病院見学 (全学科希望者対象)
	7月19日(日) 13:00～16:00	
第4回	8月16日(日) 13:00～16:00	附属病院見学 (全学科希望者対象)
第5回	9月19日(土) 13:00～16:00	
第6回	10月10日(土) 9:00～15:00	
	10月11日(日) 9:00～15:00	

なお、学校見学は随時受け付けています。その他詳細は、教務課までお問い合わせください。

【TEL】086-464-1033 (受付/平日 8:30～17:00、土曜 8:30～12:00)

### 主要行事 (4月～6月)

4月	1日	新入生オリエンテーション (～7)
	6日	臨床検査科3年臨床実習開始 (～7/23)
	7日	放射線技術科3年臨床実習Ⅱ開始 (～7/30)
	3日	入学式
	//	協働会総会 (体育館11:00～)
5月	7日	新入生健康診断
	11日	川崎学園入学時合同研修
	//	日本学生支援機構奨学金説明会
	13日	看護科3年臨床実習開始 (～9/18)
	13日	医療介護福祉科2年介護実習Ⅲ開始 (毎週水曜) (～7/15)
6月	16日	スポーツ大会
	23日	第1回オープンキャンパス
	25日	医療保育科3年幼稚園実習開始 (～6/21)
	1日	学園創立記念日
6月	9日	医療介護福祉科1年介護実習Ⅰ開始 (毎週火・水曜) (～7/8)
	16日	医療保育科保育実習開始式
	17日	医療保育科2年保育実習Ⅰ開始 (～27)
	21日	第1回公開講座
	//	第2回オープンキャンパス

### 平成27年度 推薦入試結果

試験日：11月30日(日) 合格発表：12月5日(金)

	看護科	臨床検査科	放射線技術科	医療介護福祉科	医療保育科	計
募集人員(名)	40	7	10	25	27	109
志願者数(名)	115	59	76	16 (第2希望者)	29	295
志願倍率(倍)	2.9	8.4	7.6	0.6	1.1	(平均) 2.7
合格者数(名)	54	10	12	16 (第2希望者)	27	119

### 平成27年度 一般入試前期結果

試験日：2月2日(月) 合格発表：2月7日(土)

	看護科	臨床検査科	放射線技術科	医療介護福祉科	医療保育科	計
募集人員(名)	45	33	32	10	10	130
志願者数(名)	147	108	109	17 (第2希望者)	12	393
志願倍率(倍)	3.3	3.3	3.4	1.7	1.2	(平均) 3.0
合格者数(名)	87	46	44	17 (第2希望者)	11	205

平成28年度の入試要項は6月以降に本学ホームページで公表します。詳細については、学生募集要項でご確認ください。

入試に関する  
問合せ先

【教務課】TEL:086-464-1033  
Eメール:nyushi@jc.kawasaki-m.ac.jp

### 学 生 表 彰

日本介護福祉士養成施設協会

会長賞

下垣 茉衣子

全国保育士養成協議会

会長表彰

大森 安奈

### 川崎医療短期大学広報誌 「若きいのち」(88号)

2015年3月発行

編集発行：広報誌編集委員会

天野 貴司 (放射線技術科・委員長)

河邊 聡子 (医療介護福祉科・副委員長)

名木田 恵理子 (一般教養)

見尾 久美恵 (一般教養)

重田 崇之 (一般教養)

影本 妙子 (看護科)

玉井 利奈 (臨床検査科)

重松 孝治 (医療保育科)

桑田 俊明 (庶務課)

松井 美奈 (庶務課・書記)

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話：086-464-1032 (庶務課)

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/>

### 編 集 後 記

学内の梅の花も蕾がほころびはじめました。冷たい空気の中を漂う芳香は、春の訪れを告げているようです。

今回は、オープンキャンパスに焦点をあてて特集を編集しました。各学科から1名ずつ、オープンキャンパスに参加した学生に集まってもらい、座談会を開催しました。その中から出てきたリアルな体験やエピソード、高校生に向けてのメッセージなど、実際に参加したからこそ聞けた率直な意見をまとめています。協力してくれた学生の中には、入学後オープンキャンパスで本学を紹介した経験者もいました。高校生の中には、入学後オープンキャンパスで本学を紹介した経験者もいました。高校生のときに受けた本学のイメージと大学生になってからの経験を踏まえ、どのようにすれば本学の魅力がより良く伝わるか、本当に高校生に知ってほしい短大生活のポイントは何かなど、様々なことを語り合い、楽しく意見交換を行うことができました。この場を借りて、ご協力いただいた学生の皆さんに改めてお礼申し上げます。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず、今号の記事の執筆をお引き受けいただいた皆様に深くお礼申し上げます。(河邊 聡子)